

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000415
事業所名	グループホーム猿投の楽園

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） コロナ禍において以前のような交流ができない状況下にあるが、地域のおまつりやイベントには参加し、利用者の作品を提供する等、地域とのつながりを継続する努力をしている。非常災害時等の協力要請も継続して行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて運営推進会議を书面開催で対応するなど工夫しながら、委員との意見交換や相談等を継続している。職員は交代で参加し運営推進会議で交わされた意見を運営に活かす取組みを実践している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価：4） 運営に関する質問や相談は常に市役所に問い合わせ、適正な運営に努めている。市が主催する研修等には積極的に参加し、新しい情報を得るようにしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） LINE等も活用し家族とは毎日頃から連絡をとりあい意見を伺っている。ホームでの日常を毎月写真付きで便りを作成し、家族に少しでも情報提供できるよう努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
総合評価	×	×	—	×	×	×	×	×	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								